

WUCO2022 報告書

東京大学 4 年 本庄祐一

1, 初めに

この度スイスで行われた 2022 年世界大学オリエンテーリング選手権に日本代表として参加しました、東京大学 4 年の本庄祐一です。出場した種目はスプリント、ミドル、フォレストリレーの 1 軍 2 走でした。この報告書ではこれら出場した各競技について書いた後、全体を通したまとめを記載します。

2, スプリント

結果：67 位/91 人中 (トップ+2:30)

今回出場した種目の中で一番自信があるのがスプリントでした。直前のトレキャン期間中のスプリントでも調子が良く初めてのヨーロッパの街並みにもうまく対応できている自信があり、目標はトップ+1:30 以内でした。レースは比較的ナビゲーション負荷が低く、ルートチョイスも少なかったためスピードを出さなければならないレースとなりました。レースが始まって数レグ行った後にそれに気づいた私はそれに対応しようと走る方に意識を集中してレースを行いました。途中まではそれもうまくいき、40 位程度を推移することができていました。しかし Passage におけるマップフリップで整地をうまくできず路地を一つパラレルしてしまい、そこで 40 秒のミスタイムをつけてしまいました。このミスがあまりにも大きく、結果は目標とは程遠い結果となりました。レース後半に身体的な余裕がなくなった時にナビゲーションをおろそかにしてしまったというこれまで何度も経験したミスを再び繰り返してしまいました。これがあったことで成長できたといえるような経験にしたいです。

3, ミドル

結果：70 位/92 人中 (トップ+16:25)

ミドルは日本人にとって鬼門であると聞いていて、日本でも経験したことがないような難易度になるという予想はしていました。そのためにトレキャンは多くの特徴物をとらえるナビゲーションや、正確に直進することを特に意識して取り組みました。50 位を目標にしていました。

レースが始まってから、情報量に圧倒されました。何を見ればいいのか、何が見えるのかを一瞬で判断することができず、今の技術力ではなすすべなしという感じでした。またコントロールの位置も最も難しくなるような位置に置かれているため、コントロール円の中に入っても全く見つけられないポストがほとんどという形でした。ミスにミスを重ね、結果は目標には全く届かないものとなりました。しかし、自分の技術力が明確に足りないのだと実感できたことは大きな収穫となりました。日本にはあれほど情報量の多いトレインは少ないからこそ、そのようなトレインではミスなく実行できなければならぬことを実感しました。

4, フォレストリレー

結果：13位/22チーム中（個人ではトップ+12:34）

フォレストリレーでは1軍の2走として出場しました。1走は集団についていける小牧選手、3走は集団について行かずに自分のナビゲーションをしたい平岡選手でした。自分の2走としての役割は集団で来る小牧選手から繋いでもらい、集団を利用しつつミスをなるべくしないで3走に繋ぐことだと思っていました。またチームの目標は13位でした。

1走の小牧選手がトップ+1:55の全体6位で帰って来ました。まさかこの順位で帰ってくるとは思っていませんでしたので驚きが強く緊張はあまりなく出走できました。後ろからすぐに5人ほど追って来たので利用しようと思いましたが、全員1ポが違ったため、そこで少し離されてしまいました。ここからなんとか追いつこうと思い集団を追いしましたが、よく地図を見ていなかったためルートの悪いルートをとってしまったり、どうしても脱出で減速してしまうことが多かったです。そのためレース序盤で大きく順位を落としてしまいました。レース後半からはドイツの選手とコースが全く同じだったのか、ずっと並走しました。異なるルートを取ってもアタックでは同じになるような感じで、ここでドイツの選手と同じペースでレースできたのは大きな自信になりました。Passage後に再びミスをしてしまい、16位まで順位を落とす結果になりましたが、なんとか平岡選手に繋ぎ、平岡選手が順位をあげて13位でのフィニッシュとなりました。結果としては目標達成でしたが、1走のあれだけの走りがあった中だったので10位以内に入りたかったなというのが素直な感想です。

海外の選手の走りを初めて間近で見ました。驚いたのはナビゲーション能力の圧倒的高さです。直進を全く止まることなくかなりの精度で実行し、脱出でも減速することなく、まさにスプリントをやっているかのような走りをしていました。その一方で体力的な水準は自分が思っているほど差があるわけではないことがわかりました。世界レベルの選手との差がどこにあるのか知れたのはこの大会一番の収穫だったのかなと思います。

5, まとめ

初めての世界大会でした。レースとして満足のいくレースができたものではありませんでしたが、地図やテレインに振り回されたのもいい経験になりました。また、リレーのところでも書きましたが、海外選手の走りを間近で見ることができたのは非常にいい経験でした。この経験を自分の成長に昇華し、再び世界大会にでたいなと思えた楽しく充実した大会でした。ありがとうございました。